

# 新年ご挨拶

一般社団法人高知県建設業協会  
高知県建設産業団体連合会  
会長 吉村文次

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は当協会の運営につきまして格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

会員皆様とともに新春を祝い、本年が明るく希望に満ちた一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

さて、念願でありました新たな高知県建設会館が年明け早々の1月15日に竣工を迎える運びとなりました。ここに至るまで、多大なご支援ご協力を賜りました関係機関の方々、会員各位には心より厚くお礼申し上げます。

落成後の建設会館は、来る南海地震にも耐え防災拠点はもとより本県建設業界のシンボルとしての役割を担うこととなります。この新たな拠点を足掛かりとし業界の飛躍に向け役職員一同これまで以上に業務に精励するとともに業界を盛り立てて参る所存ですのでご関係各位におかれましては変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、国土交通省の発表によると、我が国の平成29年度建設投資は、前年度比4.7パーセント増の54兆9600億円の予想が出されており、ピークが平成4年度の84兆円であったことを思えばまだ6割強の回復との見方がなされるところです。

しかしながら平成22年度には42兆円にまで落ち込んだことに鑑みれば、現政権が掲げる国土強靱化とデフレ脱却政策、そして景気回復が相まって投資額が右肩上がりに回復していることは誠にありがたい限りです。

本県の公共事業推移をみると平成10年頃をピークに19年度には最盛期の3割に落ち込み、現在はおよそ5割弱まで回復を見せております。今後は政府が主導する「地方創生」政策と、尾崎県政が力強く押し進める「高知県産業振興計画」が良き相乗効果を発現し、県勢飛躍につながることを心より祈念致します。

近年、国を挙げて働き方改革が大きな課題となる中、本県業界にとっても「週休二日制の推進」や「労働基準法の改正」、そして「キャリアアップシステム」導入などは本年否応なく直面する検討課題となります。

課題山積ではありますが、建設産業が県民皆様の安全で安心できる生活を守るとともに経済・雇用を支える基幹産業として健全に存続し、さらには、建設業で働く若者が夢と希望を持ち将来を託せる産業に成長できますよう、ご関係の皆様方のお力添えとご指導ご協力を心より重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。